

# 令和6年度 シラバス

愛媛県宇和島高等学校津島分校

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	2	学年	1	類型	
教科書	新編現代の国語			副教材	新編現代の国語 学習課題ノート				

学期	月	単元名	指導項目、内容	重視する評価の観点			学習のねらい・学習の目標・評価の観点
				知	思	主	
1 学期	4	1 自己を見つめる	こそめスープ 生きる原点としての自己への理解を深めさせる。 課題テスト	◎	◎		学習のねらい 1学期は、随想や評論文を読み、自己の在り方や他者との関わりについて考えを深めます。また、テーマを設けて話したり、資料を元にして説明したりして伝え合う体験をします。 2学期は、社会との関わり方や言葉、自然についての新しい考え方を学びます。文章の構成に目を向けたり、情報収集の方法を学んだりします。 3学期は、世界や未来に目を向けます。読むだけでなく、作文したり発表したりする機会を通して自分の考えを深め、他者の考えに学ぶ姿勢を養います。
		2 他者に出会う	未来をつくる想像力 筆者の考えを読み取り、関心の幅を広げさせる。	◎	○	◎	
	5		"	◎	◎		
			"	◎	◎		
		2 他者に出会う	水の東西 対比を通じてわかりやすい文章となっていることを理解させる。	◎	◎	◎	
	6		"	◎	◎		
		3 言葉と生活 1	説明や読み比べを通してコミュニケーションの基礎を養わせる。	◎	◎	◎	
			"	◎	◎		
	7		"	◎	◎		
		4 視野を広げる	無彩色の色 新鮮な着眼や発想に触れて視野を広げさせる。	◎	◎	◎	
		"	◎	◎	◎		
2 学期	8	5 社会と関わる	鍋洗いの日々 働く人の思いを理解し、社会で生きる自分の将来について考えさせる。	◎	◎	◎	学習の目標 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにします。論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わり伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができることを目指します。
			"	◎	◎	◎	
			働くことの実態や働く人々の心情を読み取り、理解させる。	◎	◎	◎	
	9		"	◎	◎	◎	
			職業観について考えを深めさせる。	◎	◎	◎	
			"	◎	◎	◎	
	10		"	◎	◎	◎	
			森で染める人 文章の内容や書き手の意図を解釈させる。	◎	◎	◎	
			文章の構成や論理の展開を読み取らせる。	◎	◎	◎	
	11		"	◎	◎	◎	
6 言葉と生活 2		話し合ったり自分の考えを書いたりして、表現する力を養わせる。	◎	◎	◎		
7 世界とつながる		美しさの発見 芸術や歴史の真実に触れ、周囲に広がる世界への理解を深めさせる。	◎	◎	◎		
12		"	◎	◎	◎		
		美しさの発見 筆者の「美しさ」への価値観に触れ、その主張を読み取らせる。	◎	◎	◎		
		"	◎	◎	◎		
3 学期	1	7 世界とつながる	りんごのほっぺ 内容や構成、論理の展開についての的確に捉え、要旨を把握させる。	◎	◎	◎	知識・技能 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。基本的な漢字や熟語を理解し使いこなすことや語彙を豊かにすること、文章の組み立てを理解し、様々な述べ方を使い分けることができる。
			"	◎	◎	◎	
			戦争体験を語り継いでいくことの意義を理解させる。	◎	◎	◎	
	2		"	◎	◎	◎	
		8 未来に目を向ける	不思議な拍手 多様な価値観に目を開き、社会の未来について考えさせる。	◎	◎	◎	
			"	◎	◎	◎	
	3		"	◎	◎	◎	
		真の自立とは 筆者の主張する「自立」や「大人になること」を正確に読み取らせる。	◎	◎	◎		
		"	◎	◎	◎		
		"	◎	◎	◎		
		筆者の問いかけに対し、自らの考えをまとめさせる。	◎	◎	◎		

※評価の観点 知：知識・技能 思：思考・判断・表現 主：主体的に学習に取り組む態度

◆学習方法のポイント

【「現代の国語」の目標】

- 漢字力をつけよう。
  - ・月に2回全校一斉の漢字テストがあります。毎回100点をとるつもりで頑張りましょう。
  - ・希望者を募り、年3回漢字検定を実施しています。2年までに3級以上合格を目標に挑戦しましょう。
- 読解力をつけよう。
  - ・教科書の文章を、じっくり読み味わいましょう。
  - ・いろいろなジャンルの本(評論文)を読み、ものの見方・考え方を広げましょう。
- 表現力をつけよう。
  - ・作文やスピーチに取り組むことによって、自分の考えや意見を人に伝えましょう。

【授業】

- 週に2時間の授業があります。
- 1つの単元の授業の流れは、次のようになります。
  - ① 教科書を読みます。
  - ② 出てくる漢字や難語句について、辞書を用いて調べ確認します。
  - ③ 本文を読解します。
  - ④ 学習課題ノートを用いて内容を確認します。
- ノートは、板書に加えて口頭で示された重要ポイントも記し、工夫された「自分のノート」を作りましょう。
- できれば国語辞典を用意し、わからない語句はその都度調べましょう。
- 思考力、判断力や表現力を養うための発展学習を行います。主体的に取り組みましょう。

【家庭学習】

- 漢字は毎日欠かさず練習しましょう。
- 本を読んだり新聞に目を通したりして、見聞を広げましょう。

【定期考査】

- 教科書をじっくり読み返し、ノートや学習課題ノート、プリント類を見直しましょう。
- 特に漢字は正確に書くことを心掛けましょう。
- 教材から学んだことや得た知識、考えたことなどをまとめておきましょう。

【その他】

- 将来進路に関わって、小論文が必要になる人も多いと思います。気になった新聞記事を貼ったり、気に入った文章などを書き留めたりするノートを一冊用意すると良いでしょう。

◆評価の方法、規準

評価の方法	定期考査、授業への出席状況および学習意欲、課題提出とその内容、ノートの整理状況を知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度の三つの観点から評価します。	
評価の規準	1学期	中間考査、期末考査(全ての観点から評価しますが、主に知識・技能 思考・判断・表現を重視します)出席状況及び学習意欲(主に主体的に学習に取り組む態度の観点から評価します。)ノートの整理状況(主に知識・技能 思考・判断・表現の観点から評価します。)課題提出状況等
	2学期	中間考査、期末考査(全ての観点から評価しますが、主に知識・技能 思考・判断・表現を重視します)出席状況及び学習意欲(主に主体的に学習に取り組む態度の観点から評価します。)ノートの整理状況(主に知識・技能 思考・判断・表現の観点から評価します。)課題提出状況等
	3学期	学年末考査(全ての観点から評価しますが、主に知識・技能 思考・判断・表現を重視します)出席状況及び学習意欲(主に主体的に学習に取り組む態度の観点から評価します。)ノートの整理状況(主に知識・技能 思考・判断・表現の観点から評価します。)課題提出状況等
	学年	1学期の成績、2学期の成績、3学期の成績を総合的に評価